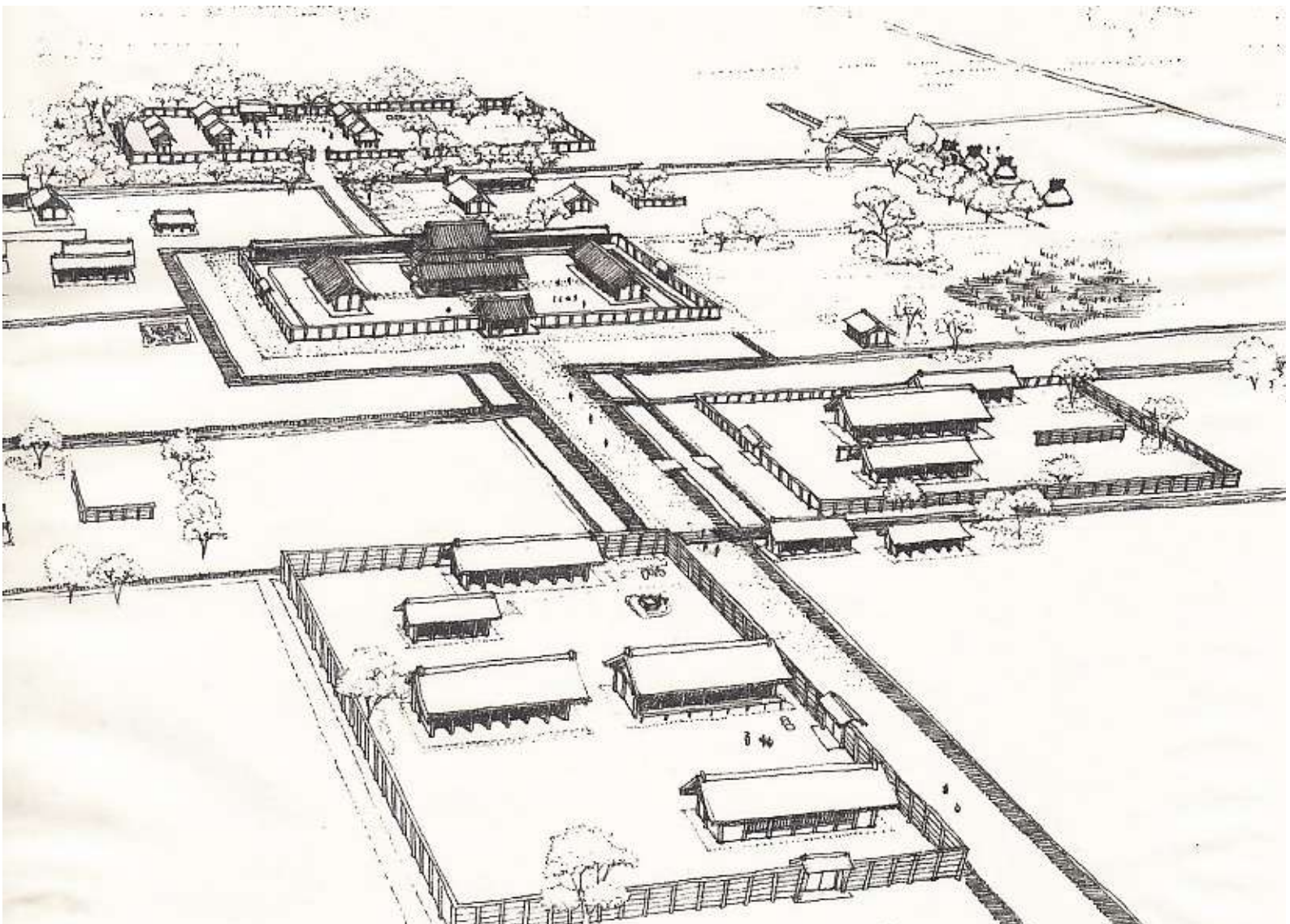


備後国府跡

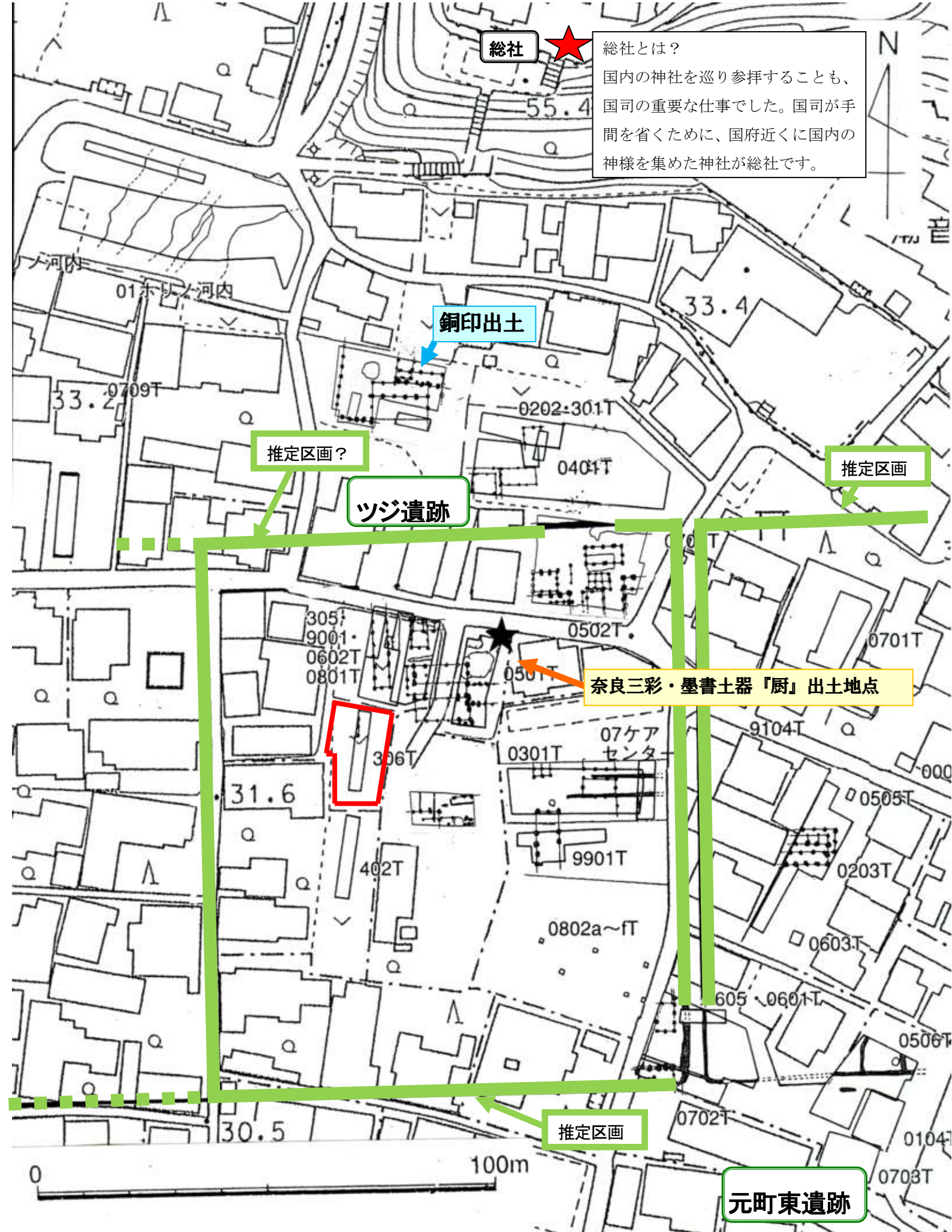
ツジ遺跡発掘調査

《現地説明会資料》



平成24年9月8日(日)

広島県府中市教育委員会



総社



総社とは？
国内の神社を巡り参拝することも、
国司の重要な仕事でした。国司が手
間を省くために、国府近くに国内の
神様を集めた神社が総社です。

銅印出土

推定区画？

ツジ遺跡

推定区画

奈良三彩・墨書土器「厨」出土地点

推定区画

元町東遺跡

図1 ツジ遺跡・元町東遺跡全体図 (縮尺 1/1,000)

※地図上の〇〇〇Tとは、調査地点の名前です。調査した年などがわかります。

1 例えば、0402Tは、2004年の2か所目に調査した地点のことです。

平成24年度 備後国府跡 ツジ遺跡確認調査(1201T)概要

調査期間：平成24年5月7日～平成24年9月下旬（予定）

調査面積：約220㎡

ツジ遺跡とは？

備後国府の「館」(国司の官舎)や「曹司」(国府に関連する役所施設)と考えられている重要な遺跡です。掘立柱建物跡などの数多くの遺構が確認され、当時の高級な器である緑釉陶器が極めて多量に出土(県内最多)し、陶硯(すずり)や腰帯具など古代の役所に関する遺物が多く発見されているほか、ガラス小玉入りの奈良三彩蓋付小壺や銅製印が出土したことで、周辺に広がる遺構の重要性がさらに増しています。近年の調査成果としては、役所施設を取り囲む区画溝が検出され、元町東遺跡(現広谷公民館敷地)の調査成果とあわせて、東西約100m、南北約120mの大規模な区画が復元されています。この区画については、「館」である可能性が高いと考えています。

1201Tの調査成果

今回の調査区(1201T)は、復元区画の中央西寄りで、昨年調査の1102Tの西隣にあたります。北東の0501Tや0602Tでは、大規模な区画の「主殿」的な掘立柱建物群が見つかり、ガラス小玉入りの奈良三彩蓋付小壺が出土しています。

1201Tの調査では、7棟分の掘立柱建物、掘立柱塀1、土坑3基、小柱穴約200基などが検出されました。検出された土層から、I期＝下層のグループ(奈良時代～平安時代初ごろ)とII期＝上層のグループ(平安時代前半～末ごろ)とに分かれます。また、調査区内の包含層や柱穴などの遺構の埋土から、緑釉陶器をはじめ、古代(奈良～平安時代)の遺物が多く出土しました。

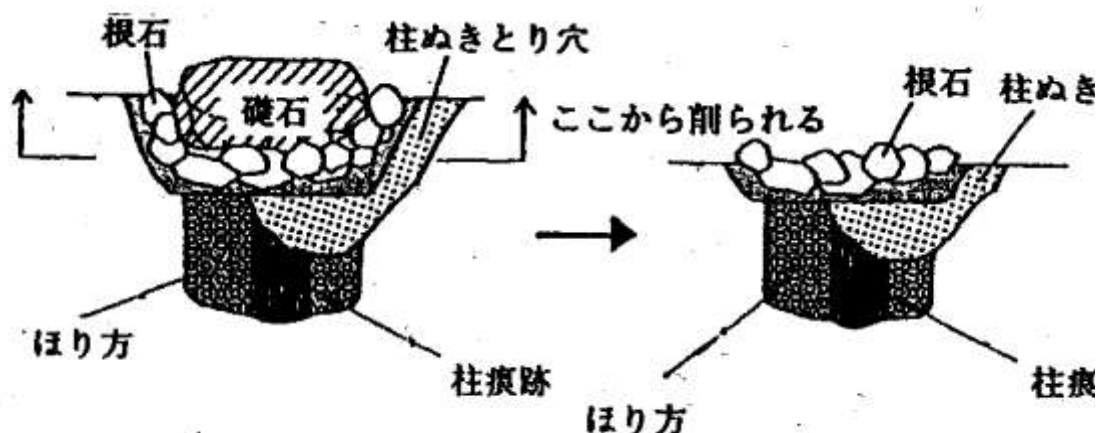
I期(下層)の遺構(奈良時代～平安時代初ごろ) 掘立柱建物、掘立柱塀

建物1～4・掘立柱塀

周辺の調査で確認されているものと同様に、東西南北の方位に合わせた掘立柱建物・塀で、柱穴の大きさは径80cm～1mです。

建物5

東西南北の方位に合わせた掘立柱建物で、柱穴の大きさは径80cm～1mです。その後、礎石建物の礎石に建て替えられているようです。総柱の建物と考えられ、倉庫であった可能性があります。



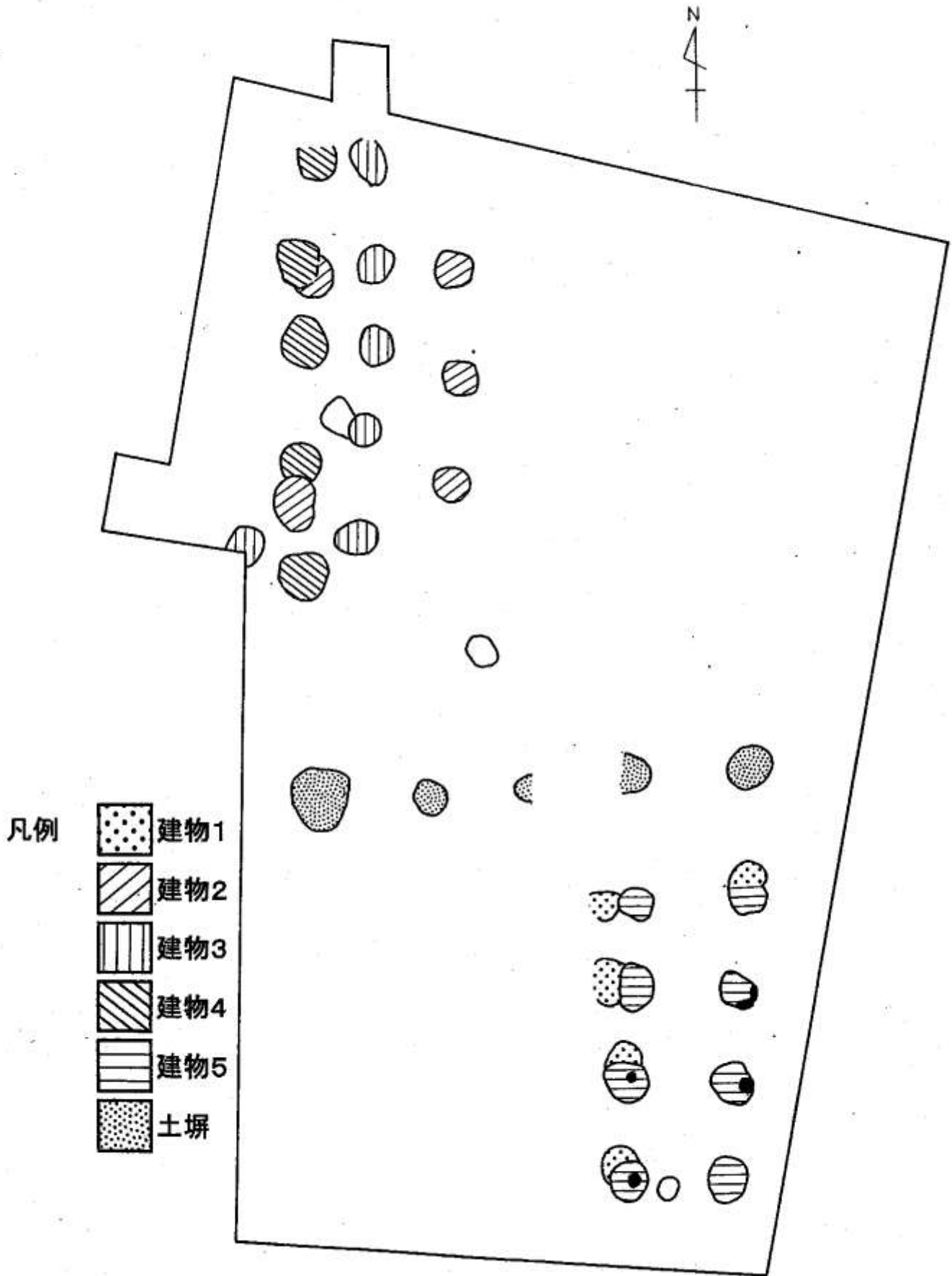


図2 調査区全体図1 (1/100) 下層の遺構

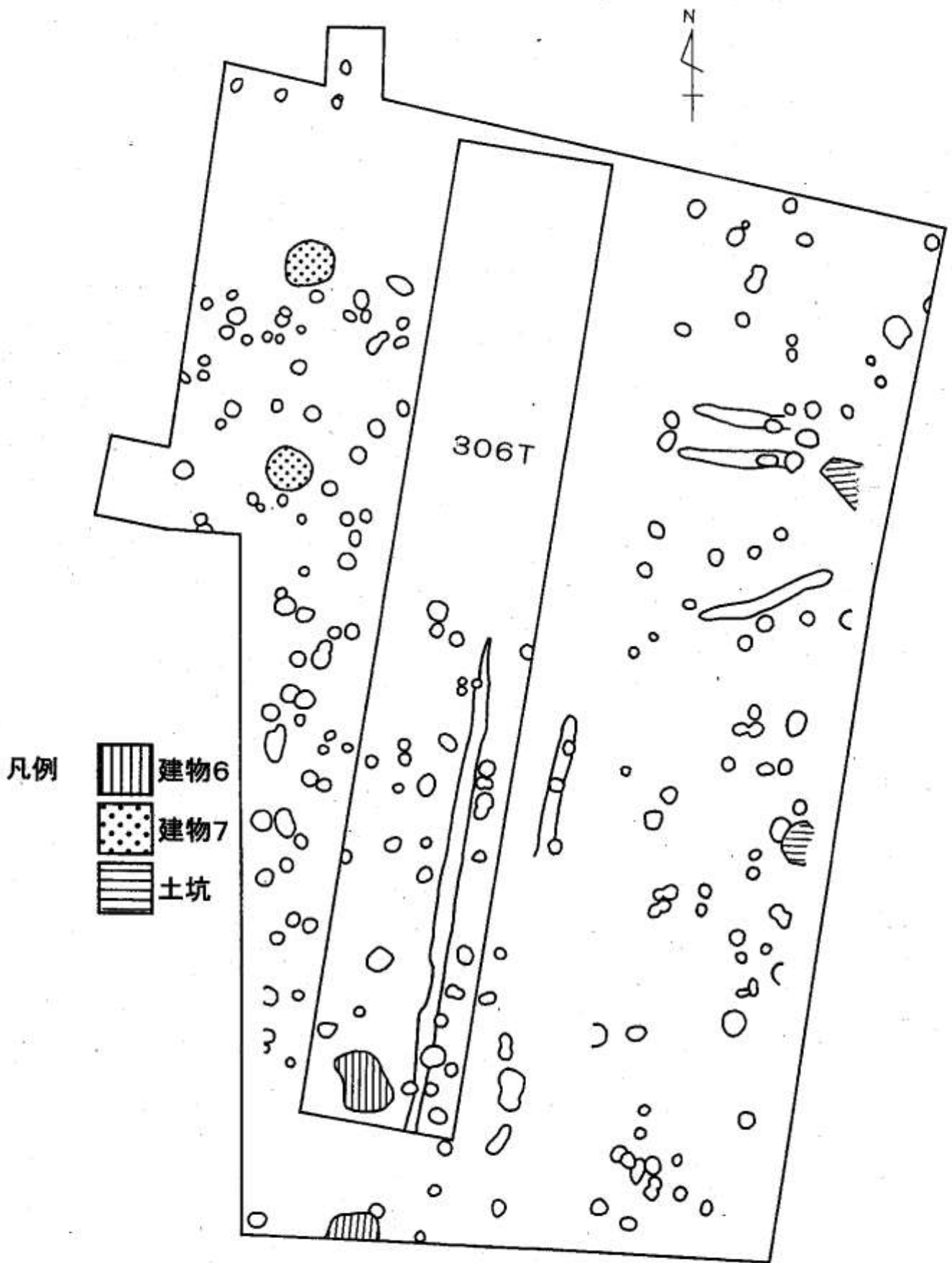


図3 調査区全体図2(1/100) 上層の遺構

Ⅱ期(上層)の遺構(平安時代前半～末ごろ) 掘立柱建物、溝、土坑、小柱穴

建物6～7

南北の方位に合わせるように穴が並んでおり、掘立柱建物と考えられます。柱穴の大きさは径80cm～1mを測ります。

土坑

調査区の東端で3基確認されました。埋土には、炭片が多く混じり、多くの土器片が出土しました。さらに上層から掘りこまれた可能性があります。

小柱穴

調査区全体で約200基確認されました。埋土に炭片が多く混じったものと、埋土に炭片が少し混じったものの2種類があり、2時期に分かれると考えられます。後者の柱穴の一つからは「^{せいそうげんぼう}聖宋元宝」(北宋の銅銭、1101年ごろ鑄造)が出土しました。

まとめ

今回の調査によって、区画内に平安時代後半の大型の建物が存在することが確認され、ツジ遺跡がそのころまで中心的な施設であったがわかりました。今後は、さらに遺跡の性格が明らかになるよう調査を進め、史跡指定などによって遺跡の保全が図られるよう取り組んでいきます。

❖国府ひとくちメモ

「^{こくふ}国府」：当時の「国」の役所のことを指すだけでなく、政治的な中心があった場所、現在の県庁所在地のような意味でも使われます。たとえば広島県の県庁所在地といえば広島市全域を指すように、備後国府とは現在の府中市街地全域を含む一定の範囲を指すといえます。

「^{こくじょう}国庁」：国府の中の中心的な役所、今でいう県庁のようなものです。国庁(政庁)は、政務全般を統括し、中庭で儀式をおこないました。区画された敷地を指すときは「^{こくじょういん}国庁院」とも言います。

「^{こくが}国衙」：国府の中には、国庁以外にも税の徴収、戸籍の管理、都に送る貢物の収納(倉)、国司にあてがわれた官舎(館)、工房、厨房など様々な部署が存在していました。そうした多くの政務をつかさどっていた機関の総称が国衙です。国庁周辺に形成された中核部分、官庁街が国衙域です。

「^{たて}館」：都から派遣されてくる国司にはそれぞれ位と役割があって、上から長官である「^{かみ}守」、長官を補佐する「^{すけ}介」、記録や文書の審査・作成を行う「^{しじょう}掾」・「^{さかん}目」などがありますが、国庁周辺には、「^{かみのたち}守館」や「^{すけのたち}介館」のように、それぞれに官舎があてがわれていたようです。

時代	年代	主なできごと	備後南部 主要遺跡	市内の主な遺跡	ツジ遺跡 1201T	
縄文時代	1万年前	土器や弓矢を使い始める	宮脇遺跡 (新市町)			
	2500年前	稲作が伝わる 金属器がつけられる	御領遺跡 (神辺町)			
弥生時代	2000年前	 「邪馬台国」の時代	神谷川遺跡 (新市町)	伊豆迫山遺跡(広谷町) 伊豆迫山墳墓群(広谷町) 打堀山A・B遺跡(鞆飼町) 大久保遺跡(用土町) 門田A遺跡(本山町) 山の神遺跡(元町) 坊迫A遺跡(元町)		
		古墳時代	1500年前	大きな前方後円墳がつけられる 横穴式石室がつけられる		 
飛鳥時代	奈良時代	諸国に国府がおかれる 都につながる道路が整備される	備後国分寺 (神辺町)	黒金塚古墳(府中町) 樋口第2号古墳(河南町) 打堀山B2号古墳(鞆飼町) 伝吉田寺(元町) 常城(本山町～新市町) 備後国府跡(元町) 前原遺跡(父石町) 金龍寺東遺跡(元町)		↑ 建物1～5 ・掘立柱塀 ↓ 土抗・小柱穴
平安時代		1000年前	武士の台頭 日宋貿易が盛んになる	青目寺跡(本山町) 打堀山C遺跡(鞆飼町) 砂山遺跡(元町) 伊豆迫山遺跡(広谷町) ホリノ河内遺跡(元町) 坊迫C遺跡(元町)		
鎌倉時代	室町時代	南北朝の争乱	草戸千軒町遺跡 (福山市)	八尾山城(出口町～府中町)		
江戸時代		500年前	戦国時代	 相方城跡 (新市町)		亀寿山城(中須町～新市町)

注) 遺跡の年代はおおよその年代です。

府中市教育委員会では、備後国府跡の確認と遺跡の保存をはかるため、住宅などの新築・建替等の際に住民の皆様の御協力を得て、発掘調査を行なっています。建築等の工事計画のある方は早めの御連絡と御協力をお願いします。また、文化財に関する情報(土器が出土したなど)がありましたら、府中市教育委員会まで御連絡ください。

* 備後国府発掘30周年記念事業の御案内 *

* 巡回展示会「備後国府とその時代展」

と き：平成24年11月29日(木)～12月16日(日)

ところ：府中市文化センター 第1展示室

* 広島県立歴史博物館、広島県立歴史民俗資料館との共同企画で開催します。

* 備後国府のあった時代を現す出土品が県内各地から集結します。



* 備後国府発掘30周年記念講演会

と き：平成24年12月9日(日)13:30～

ところ：府中市文化センター 中ホール

講 師：奈良大学教授 坂井秀弥氏

出演者：広島大学教授 西別府元日氏

島根大学教授 大橋泰夫氏 ほか

* 『国府』の調査や活用における専門家が、備後国府跡の現状と今後について語ります。

* 『資料館フェスタ in 学びフェスタ』の御案内 *

と き：平成24年10月27日(土)・28日(日) ところ：府中市歴史民俗資料館

* チャレンジ古代体験!

* 古代の食材体験♪ どんぐりクッキー・古代米おにぎり・古代米入り食パンや甘酒など(無料)

* まがたま作り体験♪ やわらかい石を削って磨いて、MYまがたまを作ろう!(300円)

* 国府時代の衣装体験♪ 約千年前にタイムスリップ! 宮殿を背景に写真を撮ろう!(無料)



* 企画展「セピア色の府中」♪

* 懐かしい府中の風景や人々が写し出された古写真を展示します。

と き：平成24年10月27日(土)～12月28日(金)

